

平成 27 年度お城を中心としたまちづくり懇話会 議事抄録

日時：平成 28 年 3 月 24 日（木）

13：30～15：00

会場：もりおか歴史文化館

（1 階研修室）

1 開会 公園みどり課 佐竹課長補佐

開会に先立ち、青年会議所理事長高橋一仁氏が本年度から委員に就任された旨報告をおこなった。

2 あいさつ 都市整備部今野次長，倉原座長

[報告] 事務局	3. 報告事項 ■計画に位置付けられた施策の実施状況について お城を中心としたまちづくり計画に位置づけられている平成 27 年度に実施された事業について報告を行った。
高橋（司）委員	《質疑・意見等》 イベントをするためだけに公園があるのではないと考える。普段の公園の状態でどの程度市民の出入りがあるのかということも把握した上で、資料にまとめないとあまり意味がないと思う。 日常的な公園利用者人数などは把握していないのか。
事務局	日常的に公園利用人数をカウントしているということはない。指定管理者である緑の相談室で、日によってカウントしている場合もあるが、通年的人数のカウントは行っていない。
倉原委員	イベント時の利用状況把握は大事だが、日常的な利用状況も意識して検討していくことが必要である。
下玉利委員 事務局	市民から公園に対してのニーズを吸い上げるような機会はあるのか。 直接的な機会というのは設けていない。 しかし、当課では公園利用申請をいただいたときの資料があり、その中の利用目的などを整理すると傾向が見えてくる部分もあると言える。利用頻度は年間 110 件程度である。 また、緑の相談室ではアンケートを実施している。アンケートについては、回収件数が少ないことが課題と捉えている。
下玉利委員 事務局	アンケートで寄せられた意見というのはイベントに対してのものか。 イベントに対してのものもあるが、長期的な要望と捉えられるものもある。例えばトイレをきれいにして欲しいであるとか、照明が少ないであるとか、そういった要望も寄せられている。
下玉利委員 事務局	そのようなニーズを知った上で、行政サイドから何か仕掛けを用意するといったような意識を持たないと何も変わらないのではないかと思う。 普段公園を利用している方、あまり利用していない方、どちらに対してもなぜ公園を利用しないのかというところを突き詰めて追っていかないと何も新しいことが生まれないと感じる。 もう一つ。例えば発掘調査を実施したときに、小中学生などに対して作業を呼びかけて公開するなどといったようなことはなかったのか。 去年は調査面積自体も少なかったことから、特に公開はしていなかった。

<p>下玉利委員</p>	<p>しかし、一昨年は現地説明会を行ったりもしていた。 平成 28 年度に向けては、作業の公開についても検討していきたいと考えている。 ぜひ、検討していただきたい。小中学生達の興味を引くことにもなり、記憶に残るものとなるだろう。</p>
<p>高橋（司）委員</p>	<p>やはり、記憶に残るものを作ってあげないと大事に思っではもらえない。 観光バスがよく駐車場に停まっているが、添乗員さんにアンケートをお願いするというのも一つのアイデアだと思う。</p>
<p>今野次長</p>	<p>やはり、他県からの観光客の意見というのは重要だと思う。 ふるさとガイドという団体があり、観光客からの意見や要望について集約し、緑の相談室が定期的に行っている運営委員会の場で内容を共有するなどしている。 そのような場に出た意見なども踏まえて、市は何を実施したのかということも含めて資料にまとめ、次の懇話会の場で紹介できればと思う。このことについては、事務局に検討していただくこととする。</p>
<p>高橋（司）委員</p>	<p>委員の中に緑の相談室の方が入っても良いと思う。</p>
<p>高橋（智）委員</p>	<p>亀ヶ池栈橋の架け替えが完了し、利便性も大変良くなったと思う。そのことは良いのだが、歩道の車止めに装飾として設置された鳥の像がセキレイではなくスズメにしか見えない。</p>
<p>及川課長</p>	<p>実はあの車止めは既製品である。実際にセキレイに見えないという意見もいただいております、反省すべき点であったと捉えている。</p>
<p>下玉利委員</p>	<p>あれはひどいと思う。評判も悪い。20 年ほど前からある既製品のデザインであり、せっかく栈橋が綺麗になったのに、その既製品をここに持ってきたのかということ考えるとがっかりである。</p>
<p>倉原座長 斎藤委員</p>	<p>反省とともに、今後の参考意見としていただければと思う。 計画段階での意見の集約の仕方がまずかったのではないかなと思う。そういった意味でも、公共物というのは難しい。</p>
<p>倉原座長</p>	<p>なかなか完璧に行うということは難しいと思うが、貴重な意見として捉えて欲しい。</p>
<p>下玉利委員 斎藤委員</p>	<p>イベントをもっと増やせたら良いと思う。 市だけが企画者ではないのだから、市から呼びかけて市民の方が主体的に企画できるような関係性になれば良い。</p>
<p>下玉利委員</p>	<p>やはり、子どもが楽しめるイベントがもっとあれば良い。 例えば公園を借りるにしても、料金が高いのではないかなど、様々なイメージを持っている市民の方々がいると思う。そのような方に対してもオープンな情報を公開していくことにより、イメージのハードルが下がって利用しやすい状況になるのではないだろうか。</p>
<p>林委員</p>	<p>観光バスが多数停まっているというお話があったが、市外の修学旅行生などはそのような機会が設けられて、盛岡城跡公園に入っていると思う。一方、市内の学生たちは公園に入る機会が設けられているのだろうか。</p>
<p>中野次長 高橋（司）委員 事務局</p>	<p>遠足などでは訪れることとなる。 近所の中学生は写生会などをやっているのを良く見る。 一回訪れて、何か活動をしたことがあればそれが記憶に残ると思う。 公園の使いわけ方の補足説明をさせていただきたい。平成 26 年度のデータで見</p>

	<p>ると利用が一番多いのは東警察署の訓練である。全体の21%を占める。その他、歴史クイズ等テレビの取材などが19%。ライブ等イベントが17%。緑化まつり等が12%である。遠足は件数にすると9件である。</p> <p>また、一番多く使われている場所は多目的広場である。利用月で一番多いのは4月から5月である。</p>
高橋（一仁） 委員 倉原座長 事務局	<p>そもそもこの懇話会は、「お城」の活用を考える会なのか「お城のまわり」を考える会なのか。</p> <p>私の認識としては両方と捉えているが、事務局はどのように考えているのか。どちらかに偏って考えるということではない。どちらも考えていくということである。</p>
高橋（一仁） 委員	<p>資料について言うと、石垣等の整備について多くページを割いているが、こちらとしてはそれについて話し合える余地が無いと感じる。平成28年度の事業予定にしても、ターゲットが誰になるのかが分からない。計画の全容が見えないものとなってしまっている。</p> <p>市の縦割り行政の中では、せっかくこういった機会を持って話し合っても実現性の低いものとなってしまっている。</p> <p>本当にお城のまわりを考えるのであれば、おでつてのあり方であったり、市役所のあり方だって考えなければならないと思う。</p>
倉原座長	<p>貴重な意見だと思う。話し合ったことをより実現性のあるものにするためにも、懇話会のあり方について考えていかなければならないことである。</p>
高橋（一仁） 委員	<p>今の市のスタンスは、縦割り重視である。それぞれの部署の関係ある事業だけをバラバラに進めていくのではなく横の連携を密にして、ある程度まとまって進めていかないと実現性がない。</p> <p>あとは、さきほど公園を使うという話が出たが、私も以前実際に公園を使ってイベントをしようとしたことがある。しかし、そのときに窓口で提示された条件があまりに厳しくて利用を断念したことがある。</p> <p>法律や条令に沿って言われるのだが、聞いているうちにだんだん利用しようという気が起きなくなってしまう。</p>
倉原委員 斎藤委員	<p>市民目線に立った情報提供というのを意識していただく必要があると思う。</p> <p>国の指定史跡であるから、確かに盛岡城跡公園は他のところに比べて条件が厳しいというのは否めない部分もあると思う。</p>
高橋（一仁） 委員 事務局	<p>さらに、利用の仕方によって許可条件が異なるというようなことであったと思うが、内容が複雑で進める気がおきなかった。</p> <p>確かに、営利目的かそうでないかということであれば、許可条件は違ってくる。しかし、例えば先日、公園活性化交流広場の中のイベントで焼き芋を実施した。通常であれば、公園の中で火を使用するような行為は出来ないが、市と一緒に事業をすることで可能になることも出てくる。</p> <p>公園利活用について何かアイデア等があれば気軽に相談していただきたい。</p>
倉原座長 事務局	<p>焼き芋を公園でやれるくらい制度（許可条件）が緩くなったということではないのか。</p> <p>そういうことではなく、市と一緒にイベントを行うということで実現した一つの例である。事前に消防署にも届出を出したり、火を使う際の安全管理をするために多くのスタッフを配置するなど、必要な手続きを経た上で実行したものである。</p>

坂本委員	この懇話会が始まった当初の目的というのは、史跡という非常に厳しい条件の中にある盛岡城跡公園をいかに市民に利活用してもらえるかという視点で話し合うことであったと記憶している。
倉原座長	整備や修復などハード部門の話が最近は中心になりつつあるが、はじめの目的はそうではなかったことをやり取りの中で再認識していた。 確かに懇話会の原点をもう一度考えてみるということも重要なことである。
[報告]	■計画に位置付けられた施策の実施状況について 平成 28 年度以降の事業の予定について事務局より説明を行った。 《質疑・意見等》
林委員	内丸緑地の裏の石垣がヒマヤシダの根によって壊されている。このことについて修復をしようなどという動きはないのか。
今野次長	内丸緑地は岩手県が管理している。実際に県からも対応方法については相談を受けているところである。 市としても以前に岩手日報前のヒマヤシダを伐採した経緯があるが、当時はかなりの反響があったことを記憶している。市民の方々から様々な批判をいただいたこともあった。そのことを受けて、県としても対応を検討しているようである。
林委員	ヒマヤシダは葉の茂りも早いので、なんとか良い方向に動いてくれればと思う。
坂本委員	十数年前、観光客の方から「盛岡城跡は公園の中に入ると綺麗に見えるが、外からだあまりよく見えない」と言われたことがある。その言葉を聞いて、やはり樹木の伐採は必要なことなのだと改めて感じた。 樹木を伐採するということと感情的になる方もおられるので慎重に対処する必要がある。
事務局	いきなり切るということではなく、必要な部分を見極めたうえで剪定等していこうと考えているところである。手法としては、一度事務局の方で、植栽管理の基本計画のようなものを作成し、委員会を立ち上げたいと考えている。そしてその中で内容を十分に協議した上で最終的な実施へと向かいたいと考えている。
斎藤委員	説明の仕方が重要である。何をやるにしても、最終的には町のためになるということが伝わるように説明しなければ納得がいかない。
林委員	例えば伐採した木が市産材として他のものに利用されるということもアピールしていくべきである。
高橋（司）委員	教育会館跡地について。教育会館の跡に何が建つのか分からないが、どのような建物が建つにしろ、岩手山が見える眺望が確保されることを願っている。建ててしまってから、「やっぱり見えなかった」ということにならないように、事前周知すべきである。
今野次長	盛岡市景観計画というものを策定している。盛岡城跡の二ノ丸から岩手山を望むとき、一定範囲において眺望を妨げるような建物は建たないこととなる。
高橋（司）委員	ある地点からだけの眺望を確保すればいいというようなことではなく、様々な角度から見ても眺望を楽しめるようにして欲しいと思う。 また、まちづくりということに関して言えば、いかにして修学旅行生や観光客にお金を落とさせるかということも重要なことだと思う。観光資源として盛岡城跡を見たときに、その価値をうまく利用しながらお金を地域に生み出す仕組みを考えることもまちづくりを考える上においては重要なことである。ただ

<p>齋藤委員 今野次長</p>	<p>歴史的に正しいことを守って、お金を生み出さないものを作ったところで、それは意味がない気がする。</p> <p>教育会館の跡に何が建つのか、図面などは出ていないのか。</p> <p>おそらく相談には来ていると思う。景観条例に則り、指導をしていくが詳細について市が市民に対し情報を公開するという事は難しい。</p>
<p>高橋（一仁） 委員</p>	<p>平成28年度の懇話会に向けて、もう少し資料を整理すべきと考える。まず一つは、お城自体をどのように活用するのか。観光の観点と市民の観念に分けて整理すべき。二点目はお城のまわりをどのように活性化するかという視点。この二つの視点に分けて考えなければ、懇話会の中でいくら話し合っても何も生み出せないものになってしまう。</p>
<p>高橋（智）委 員</p>	<p>また、市の中にはお城のまわりのみならず町の活性化のために様々なことを考えて活動している団体がたくさんいる。小さな懇話会が散在している。これらを上手く取り込みながら話し合いを進めていかないと町は活性化しない。</p> <p>イベントを行うにしても、周知をしっかりと行って参加人数が少しでも増えるような工夫が必要である。</p>
<p>齋藤委員 及川課長 齋藤委員</p>	<p>現状の公園を見たうえで感じたことをいくつか挙げたい。一つ目は、石川啄木歌碑のところには文字だけの説明板があるのだが、新渡戸稲造のところには何もない・・・といったようにいくつかの説明板デザインが統一されていないことである。二つ目は、二ノ丸付近の井戸の覆いが竹材を組んだものがかぶせただけとなっており、大変危険な状態となっていること。早急に安全な柵を設置すべきである。三つ目は、望岳亭の脇からは晴れていると岩手山がきれいに見えるのだが、天気の良い日でも景色が想像できるような写真などを設置すれば良いと思う。四つ目は二ノ丸付近に池の跡と思われるようなところがあるが、できれば水を張るなどできたら良いのではないかと考える。五つ目は、宮野小提灯の説明板の文字が読めないほど劣化している点である。あれくらいひどくなったのであればむしろ撤去してしまったほうがよいのではないかと思う。六つ目は、櫓跡であったり門跡などといったところに説明板を設置すべきということ。一般市民が立ち寄った際に、お城があったことをイメージさせるような仕組みがもっと必要であると考えます。</p>
<p>高橋（司）委 員</p>	<p>案内板や説明板などの設置は教育委員会の仕事なのか。</p> <p>教育委員会でも公園みどり課でも、建てることは可能である。</p> <p>QRコードやバーコードにスマホをかざすと解説が流れるなどといったプログラムも県立大学の研究室で研究している。そういった手法も検討すべきである。</p> <p>やはり統一性をチェックするような仕組みがないことには、せっかく設置し説明板にしても魅力の無いものになってしまう。そういった仕組みを作ることもお城の利活用にとっては重要なことであると考えます。</p>

4 閉会

公園みどり課 及川課長